

一般会計

質疑

滞納対策

【近藤議員】

約6億円の滞納のうち、かなりの額が不良債権になっているのではないか。

【代表監査】

依然として滞納が多い。特に時効を考慮して回収してほしい。また、回収をあきらめたら真面目に納めている人との公平が取れない。最後まで努力する必要がある。

町営墓地

【遠藤議員】

墓地調査委託料の内容は。

【総務課長】

町営墓地の希望があつて、平成24年度に適地を探す予算を組んだ。

調査の結果、旧町に1カ所ずつと大きなものが適地として報告された。

そこが適地かどうかは今後の検討である。



要望のある墓地

不納欠損と徴収

【米本議員】

町税を不能欠損する基準は。また、滞納の徴収方法は。

【税務課長】

地方税法第15条第7項の滞納処分執行停止と同法第18条の時効消滅によるもの。徴収は、納期限までに納付がないときは、納期限から20日以内に督促状を送付する。その後、納税勧奨や、必要に応じて法的処分を行っている。

町税を不能欠損する基準は。また、滞納の徴収方法は。

一般会計

討論

【原案に反対…大森議員】

一般会計の基金のうち17億円は自由に使える基金だ。その一部を繰り入れれば、国保税を引き上げる必要はなかった。

同和対策は12年前に法的根拠を失ったが、町では今も続けている。

【原案に賛成…杉谷議員】

国保税は、町が勝手に決めたものではない。国保運営協議会で議論された結果だ。

同和問題は、まだ終わっていない。

【原案に反対…圓岡議員】

進学奨励交付金などを継続することは、同和地区を固定化することになる。

一般施策に移行し、経済的な理由などによって進学をためらう子どもたちも対象にすべきだ。

【原案に賛成…西山議員】

地区学習会は、子どもたちの可能性を伸ばす大切な事業だ。

【原案に反対…近藤議員】

将来を考えれば、経常経費の削減にこそ、積極的に取り組むべきだ。

産業振興・定住施策・子育て支援など積極的な事業展開に45億円の基金は使うべきだった。